

I. アクションプランの進捗状況

1. 県立病院としての機能強化

担うべき機能やあり方に関する長期的視点での検討

- ・ 2040年を見据えて外部有識者から幅広く意見を聴取する「県立病院の未来を考える有識者会議」の開催が終了。報告資料のとりまとめと、今後の具体的検討に向けた準備を行っている。

医療安全対策及び感染対策の継続的な推進

- ・ 医療安全対策及び感染対策について、引き続き4病院共通での取組を推進し、改善に努めている。

敷地内薬局導入による患者サービスの向上

- ・ 定期的に調剤薬局との情報共有を実施
- ・ がんセンターの敷地内薬局設置検討ワーキンググループにオブザーバーとして参加予定

2. 群馬の医療を担う人材の確保と育成

職員採用の広報活動

- ・ 令和4年3月に、オンラインによる病院説明会を開催予定。
- ・ 県立病院看護部のPR動画を作成し、広報活動に活用した。

病院事務職の採用

- ・ R3年度から採用開始 (R3.4.1採用 3人)
- ・ R3年度も採用選考考査を実施 (R4.4.1採用予定 2人)

医師満足度プロジェクト

- ・ 11月末現在では未実施。
- ・ 当年度下期に、現場医師を対象とする調査を計画。

4病院共通研修の充実(ノンテク研修)

- ・ 看護職員を対象に実施していたノンテク研修をR3年度から全職種に拡大
- ・ 看護職員以外に9職種17人

I.アクションプランの進捗状況

3. 経営の健全化

診療材料価格交渉

- ・ R2年度下期からコンサルを入れた4病院包括価格交渉を開始。
- ・ 9月にR3年度交渉を妥結し、約623万円の年間削減効果あり。

投資の適正化

- ・ R2当初予算以降、医療器械・建設工事に係る投資上限額を設定
- ・ 抑制開始前5年平均と比べ、抑制開始後直近3年間平均では3億円以上削減(H27-H31平均1,941百万円、R2-R4平均1,632百万円)

科別損益計算

- ・ Excelベースで科別損益計算システム構築に着手。(がんセンターのみ)

ボトムアップによる経営改善の仕組みづくり

- ・ Google Form等のフォームツールを活用した職員提案制度実施を検討中。

4. デジタルトランスフォーメーションの推進

DX推進の枠組み

- ・ 病院局全体のDX推進体制を構築。
- ・ 局DX推進委員会、総務課DX推進委員会を各2回開催。

第五次群馬県県立病院改革プランの進捗状況について(個別計画) < 病院局総務課 >

II. 主な数値目標の達成状況

プランの柱	取組事項	進捗状況				
		R3(11末時点)	R4	R5	R6	
県立病院としての機能強化	有識者会議開催回数(回)	目標	3	-	-	-
		実績	3	-	-	-
県立病院としての機能強化	ヒヤリ・ハット等発生報告に占めるレベル0~2の報告割合(4病院合計)(%)	目標	97.0	97.0	97.0	97.0
		実績	97.2			
群馬の医療を担う人材の確保と育成	新規採用職員離職率(医師除く)(%)	目標	5%以下	5%以下	5%以下	5%以下
		実績	7.69			
群馬の医療を担う人材の確保と育成	医師ニーズ調査の実施(回)	目標	1	1	1	1
		実績	0			
群馬の医療を担う人材の確保と育成	ノンテク研修参加職種数	目標	5	6	6	6
		実績	10			
経営の健全化	損益計算回数(回)	目標	12	12	12	12
		実績	0			
経営の健全化	職員提案数(件)	目標	-	10	20	30
		実績	-			
DXの推進	DX推進委員会開催数(回)	目標	2	2	2	2
		実績	4			
DXの推進	RPAシナリオ数	目標	4	8	10	12
		実績	5			
DXの推進	新技術の導入による業務の削減時間数(時間)	目標	100	200	300	350
		実績	72			
DXの推進	オンライン会議時間数(時間)	目標	200	250	280	300
		実績	1343			

第五次群馬県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）＜心血管センター＞

資料3（心血）

1. 県立病院としての機能強化

課題	アクションプラン	KPI(主な数値目標)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
患者ニーズに対応する高度・先進医療の検討	患者に寄り添った医療提供	新規入院患者数	4,942 人	実績 進捗率	484 9.8%	102 11.9%	375 19.4%	419 27.9%	456 37.2%	367 44.6%					
多職種間の協力体制充実による地域連携の強化	地域連携による相互支援	紹介率	77.0 %	実績 達成率	75.6 98.2%	34.4 44.7%	77.7 100.9%	79.9 103.8%	72.8 94.5%	81.5 105.8%					
		逆紹介率	91.0 %	実績 達成率	109.7 120.5%	54.1 59.5%	106.5 117.0%	130.8 143.7%	110 120.9%	103.2 113.4%					
部門間コミュニケーションの強化による医療安全対策の徹底	地域連携による相互支援	インシデント報告数に対する確認不足事例割合	38.0 %	実績 達成率	49.5 76.8%	43.9 86.6%	47.2 80.5%	43 88.4%	39.8 95.5%	51.9 73.2%					
<アクションプラン進捗状況> ・新規入院患者数については、5月のクラスター発生の影響により、目標を若干下回っている。 ・紹介率、逆紹介率については、新型コロナの影響を考慮しながら医療機関と連携し、5月を除くと概ね目標を達成している。 ・インシデント報告数に対する確認不足事例割合は月ごとにはばらつきはあるが、目標には届いていない月が多い。				K P I 進 捗 状 況	<具体的な取組内容> 【地域連携】 ・地域連携に関して、WE B形式での症例検討会、学術講演会を計2回開催した。 【医療安全】 ・各部署でインシデント発生内容に応じて要因分析を行い、「対策の見える化」として確認不足によりインシデントが発生しないように、各部署で対策を立てて取り組んだ。					<具体的な取組内容> ・ ・					
					<下期の取組予定> 【地域連携】 ・地域連携に関して、昨年度中止した登録医大会をWE B形式で開催予定。登録医に当院への理解を深めていただくことで、紹介患者の増加やスムーズな逆紹介につなげていく。 ・症例検討会、学術講演会を4回開催予定。 【医療安全】 ・各部署でインシデント発生内容に応じて要因分析を行い、「対策の見える化」として確認不足によりインシデントが発生しないように、各部署で対策を立てて取り組む。 ・リスクマネジメント委員会でインシデント発生内容について情報共有を行い、同様のインシデント発生を防ぐ。					<次年度の取組予定> ・ ・					

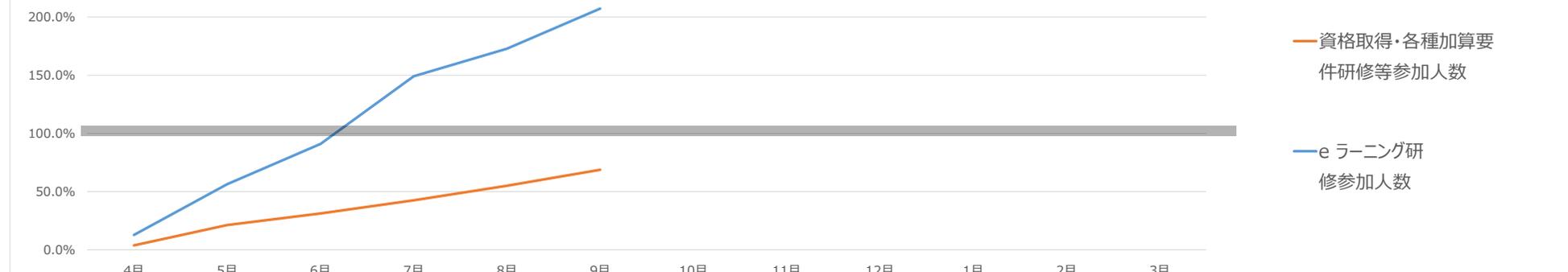


第五次群馬県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）＜心臓血管センター＞

2、群馬の医療を担う人材の確保と育成

課題	アクションプラン	KPI(主な数値目標)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
キャリアデザインの構築による計画的な研修体制の整備	資格取得・各種研修等支援	資格取得・各種加算要件研修等参加人数	80 人	実績 進捗率	3 3.8%	14 21.3%	8 31.3%	9 42.5%	10 55.0%	11 68.8%						
研修・教育時間の確保等による人材育成体制の強化	eラーニング研修参加 他の医療機関等との人材交流	eラーニング研修参加人数	55 人	実績 進捗率	7 12.7%	24 56.4%	19 90.9%	32 149.1%	13 172.7%	19 207.3%						
<p>＜アクションプラン進捗状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得や各種加算要件に係る研修参加については、新型コロナの影響により中止となる研修も多いが、各部署とも感染対策に留意しながら積極的に参加している。 eラーニング研修参加については、研修メニューが増加したことや各部署の積極的な参加などから目標を大きく上回っている。 				K P I 進 捗 状 況	<p>＜具体的な取組内容＞</p> <p>【看護部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格取得、各種加算要件に係る研修については、認定看護管理者研修、認知症ケア加算に関する研修、集中ケア認定看護師教育課程などに参加。 eラーニング研修は、群馬県看護協会主催各種研修、補助人工心臓研修などに参加。 <p>【臨床工学課】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ対策として人工呼吸管理研修、資格取得のため体外循環技術認定士研修、その他ベースメーカープログラマー研修や日本臨床工学技士会主催の各種研修などに参加。 <p>【健康相談課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間ドック専門医研修、人間ドック健診情報管理指導士研修、その他学会研修などに参加。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師、放射線課、検査課、リハビリ課などでも積極的な研修参加に取り組んでいる。 <p>・上記数値とは別に、以下のとおり院内eラーニングを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護部…メディカ出版の「CandY Link」により9月までに219名が受講。 医療安全管理室…7月～8月にかけて医療安全講演会「医療における説明義務、カルテ記載の意義」を実施し413名参加のうち392名がeラーニング参加。 感染対策室…8月～9月にかけて感染対策研修会を実施し421名が受講。 						<p>＜具体的な取組内容＞</p>					
					<p>＜下期の取組予定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 上期に引き続き、感染対策に留意しながら職員の資格取得や病院としての各種加算要件確保に向けて、研修・教育時間の確保などにより人材育成体制を継続していく。 						<p>＜次年度の取組予定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 					

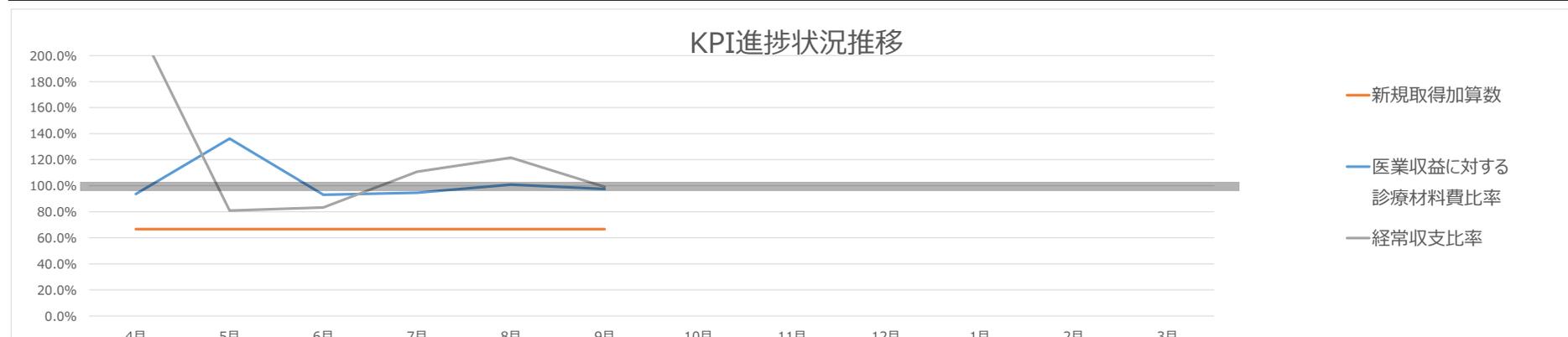
KPI進捗状況推移



第五次群馬県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）＜心臓血管センター＞

3、経営の健全化

課題	アクションプラン	KPI(主な数値目標)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
多職種連携による加算取得の積極的取組	取得可能加算への対応	新規取得加算数	3 件	実績 進捗率	2 66.7%	0 66.7%	0 66.7%	0 66.7%	0 66.7%						
全職員一丸で取り組む材料費の更なる削減	医療材料費削減	医業収益に対する診療材料費比率	47.0 %	実績 達成率	50.2 93.6%	34.5 136.2%	50.5 93.1%	49.7 94.6%	46.6 100.9%	48.2 97.5%					
全部門、全職員の経営参画意識の醸成	病院経営状況の周知	経常収支比率	100.0 %	実績 達成率	226.8 226.8%	80.9 80.9%	83.3 83.3%	110.8 110.8%	121.6 121.6%	99.2 99.2%					
<p><アクションプラン進捗状況> ・診療材料等委員会を開催し、各部署によるサンプル使用などを実施した上で共同購入品への切替を推進している。 ・管理運営会議において、毎月の経営状況を説明。また、経営戦略会議での収支改善策の取り組みなどについて周知している。</p>				K P I 進 捗 状 況	<p><具体的な取組内容> 【新規加算】 ・新型コロナ特例加算である「入院感染症対策実施加算」及び「医科外来等感染症対策実施加算」を取得。（9月30日までの時限措置） 【診療材料】 ・共同購入品への切替について、診療材料等委員会で協議し、上期で9品目を切り替え済み。 ・診療材料費価格交渉について、2社を対象に価格交渉を実施。 【経営状況】 ・管理運営会議において、収支増減の主な理由及び今後の見込みなども含めて説明。</p>					<p><具体的な取組内容> ・ ・</p>					
					<p><下期の取組予定> 【新規加算】 ・入院支援センターや医事課等の連携により、周術期口腔ケアに関する歯科連携加算を新たに取得予定。 【診療材料】 ・共同購入品への切替を更に推進。 ・診療材料費価格交渉による値引き分を下期価格に反映。 【経営状況】 ・毎月の経営状況を全部署へ説明。</p>					<p><次年度の取組予定> ・ ・</p>					



第五次群馬県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）＜心臓血管センター＞

4、デジタルトランスフォーメーションの推進

課題	アクションプラン	KPI(主な数値目標)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
部門を横断した業務プロセスの整理・見直し	業務整理・デジタル化	DX 関係研修参加人数	6 人	実績 進捗率	2 33.3%	0 33.3%	0 33.3%	0 33.3%	0 33.3%	2 66.7%					
DX 推進体制の構築	各種動画の作成	動画作成数	5 件	実績 進捗率	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 60.0%					
県内医療機関の情報共有体制の構築推進	情報共有用データ整備														
<p>＜アクションプラン進捗状況＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3.6月にDX推進委員会を設置。 ・R3.9月にDXワーキンググループを設置。 ・10月以降、月に一度開催し、必要に応じて推進委員会へ進捗報告や協議等を実施予定。 		<p>K P I 進 捗 状 況</p>		<p>＜具体的な取組内容＞</p> <p>【DX研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修「DXの推進」、「動画制作の基礎演習」 ・日本人間ドック学会主催「マイナンバーカードを通じて広がるPHRの世界」（厚労省） <p>【動画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TAVIの様子を撮影した動画を作成した。この動画は下期に公開予定の手術解説動画に使用する他、院内で看護師の研修等にも使用する予定。 ・年2回行っている健康公開講座について、上期の講座の内容を動画にしてYouTube公開を実施。 ・薬剤師による薬剤指導動画「くすりはなし」を作成し、ヘルスアップ教室開催時に活用。 ・このほか臨床工学課では、学会でのセミナー開催用動画など11件作成。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡対策委員会にて6月からWEB形式による1時間程度の多職種院内会議を実施。（外科医師が中心・皮膚排泄ケア認定看護師がサポート） 						<p>＜具体的な取組内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
<p>＜下期の取組予定＞</p> <p>【動画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カテーテルアブレーションの様子を撮影した動画を作成。この動画は下期に公開予定の手術解説動画に使用する他、院内で看護師の研修等にも使用する予定。 ・心臓血管センターで行っている代表的なカテーテル手術について、内容を解説する動画を作成。解説の様子についてはツルノスで撮影を実施予定。 ・下期の健康公開講座の様子を撮影しYouTubeで公開。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXワーキンググループでオンライン資格確認及びデータヘルスプラン実施へ向けた各部署の取り組みなどについて検討。 				<p>＜次年度の取組予定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 											



第五次群馬県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）〈心臓血管センター〉

5、新たに挑戦するもの

項目	プラン説明文	進捗状況
<p>経皮的僧帽弁接合不全修復術</p>	<p>僧帽弁閉鎖不全症に対するカテーテルを用いた新しい治療法です。胸を大きく切開することなく、また従来の外科的弁置換術のように心臓を停止させる必要がない（人工心肺を使用しない）低侵襲な治療であり、従来の標準治療である外科手術のリスクが高く困難な患者に対して有用性の高い画期的な治療法です。</p>	<p>令和3年9月1日に施設基準届出が受理され、9月29日に第1例目の経皮的僧帽弁接合不全修復術を実施しました。 手技は成功し、患者様も術後6日で合併症なく退院されました。 10月27日までに5症例を実施し、独立実施施設となる予定です。</p>
<p>パルスフィールドアブレーション</p>	<p>心房細動に対するカテーテルアブレーション治療の新しい治療法です。従来の高周波カテーテルアブレーション、クライオバルーンアブレーション、ホットバルーンアブレーションなどの治療法と異なり、「熱」をエネルギーとして用いないアブレーション治療です。そのため心臓の周囲の臓器（食道や肺）への合併症出現が非常に低くなります。 心房細動アブレーション治療の合併症の出現確率を大幅に下げる画期的な治療法です。</p>	<p>パルスフィールドアブレーションについては2021年にアメリカ不整脈学会並びにヨーロッパ不整脈学会でも様々なメーカーから新しいアブレーションデバイスが発表されています。特筆すべきはその安全性であり、心房細動アブレーションに伴う合併症のリスクが非常に少なくなることが特徴です。 本治療法は近年増加の一途をたどる心房細動患者のアブレーション治療の大きな分岐点となる可能性がある治療法であり、特に心房細動治療において日本有数の症例件数を持つ当院において重要なデバイスとなる可能性を秘めています。 本治療法の導入においては高度な技術が必要となりますが、当院における心房細動アブレーション技術により、導入における技術的問題はありません。 また、新型コロナウイルスの影響で日本への導入遅延が懸念されていますが、日本不整脈学会の主導で国内でも試験が開始されています。今後の国内での本格的な導入はまだ数年かかると思われるかもしれませんが、日本不整脈学会主導で導入が行われる予定であり、本治療の当院への導入においては日本不整脈学会との緊密な連携が不可欠であると考えられるため、引き続き導入に向けて情報交換と準備を整えていく必要があります。</p>
<p>神経調節性失神治療</p>	<p>若年性における血管迷走神経性失神に対してカテーテルアブレーションで治療を行う新しい治療法です。従来難治性血管迷走神経性失神に対しては恒久式ペースメーカー植込み術を行なっています。 しかし若年患者の場合、ペースメーカーの電池寿命の問題で複数回の交換手術が必要となります。カテーテルアブレーションによる血管迷走神経性失神に対する治療はペースメーカー植込みを回避することが出来る可能性があり、若年性血管迷走神経性失神患者に対する画期的な治療法です。</p>	<p>本治療においては近年有効であるとの研究成果がCirculationなどの循環器系主要ジャーナルに多数報告されています。 しかしながら新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い海外医師の招聘が難しく、技術的な導入が困難な状況となっています。 治療には迷走神経を中枢性に刺激するための特殊なデバイスが必要であり、本治療を世界に発信しているベルギーのブリュッセル大学の医師からデバイスのレンタルにおいて了承を得ていますが、招聘することが難しいため、導入には新型コロナウイルスの鎮静がみられるまで今しばらく時間がかかるものと思われます。</p>

第五次群馬県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）〈がんセンター〉

資料3（がん）

1、県立病院としての機能強化

課題	アクションプラン	KPI(主な数値目標)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		数値	単位	実績	実績	実績	実績	実績	実績						
地域連携の強化	地域医療機関等との関係強化	地域医療機関等への訪問回数	210 回	実績 28	0	2	2	0	0						
		地域連携バス算定数	280 回	実績 27	13	26	31	11	15						
高度専門医療提供体制の更なる強化	新たな施設認定の取得 (地域がん診療連携拠点病院の高度型、がんゲノム医療拠点病院)	診療情報提供料算定率	90 %	実績 89.5	61.5	75	90.9	75	80						
		エキスパートパネル	70 件	実績 12	10	19	8	6	7						
		ロボット支援手術症例数	180 件	実績 15	7	13	13	8	10						
		緩和ケアの延べ入院患者数	4,450 人	実績 410	418	375	350	326	408						
各職員が専門性を発揮するための適材適所の人材配置	専門性にかなった配置														
医療安全・感染対策の徹底	Team STEPPSの導入	医師からのヒヤリ・ハット事例の報告	3.0 %	実績 4.2	1.8	2.4	0.7	3.1	5						
<p>＜アクションプラン進捗状況＞</p> <p>・KPIである「地域医療機関等への訪問回数」「地域連携バス算定数」は、新型コロナウイルス感染症や対象となる診療科の患者数減の影響で、予定どおりに進捗していない。</p> <p>・「エキスパートパネル」「緩和ケアの延べ入院患者数」については、順調に推移している。「診療情報提供料算定率」「ロボット支援手術症例数」については目標を下回る数値となっている。</p> <p>・「医師からのヒヤリ・ハット事例の報告」については、月によって達成率が増減があるが、概ね目標値（3.0%）に近い数値（平均2.9%）で推移している。</p>				KPI進捗状況	<p>＜具体的な取組内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の勉強会開催及び地域連携だより等による情報発信により、地域医療機関との繋がりが強化された。 ・地域連携バスの算定について、連携医先増加に向けて、対策等の検討を行った。 ・保険適応の拡大で、前年度と比較し、上期についてはエキスパートパネルの症例数が増加傾向 ・Team STEPPS® の基礎となるコミュニケーションツールを電子カルテから視聴できるようにした。 					<p>＜具体的な取組内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
<p>＜下期の取組予定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関との関係強化、「顔の見える連携づくり」を目的として、第2回連携大会をWebで開催する。上期同様の取り組みを継続するほか、新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、今後の各種取り組みについて地域医療連携室を中心に検討を行う。 ・バスの件数が少ない診療科の原因を確認し、対策を行う。連携医先増加に向けて、バスの説明や要望の確認等を行う。 ・診療情報提供料算定率については、診療科ごとの算定率についても確認を行い、対策を考えていく。 ・エキスパートパネルについては、スムーズに患者への結果説明までつなぐことができるよう、主治医不在時の対応等について調整を行う。 ・ロボット支援手術について、下期は肺がんが始まる予定であり、手術枠の調整を適切に行い、症例数の向上に努めたい。 ・Team STEPPS® オンライン研修を計画 					<p>＜次年度の取組予定＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 										



第五次群馬県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）〈がんセンター〉

2、群馬の医療を担う人材の確保と育成

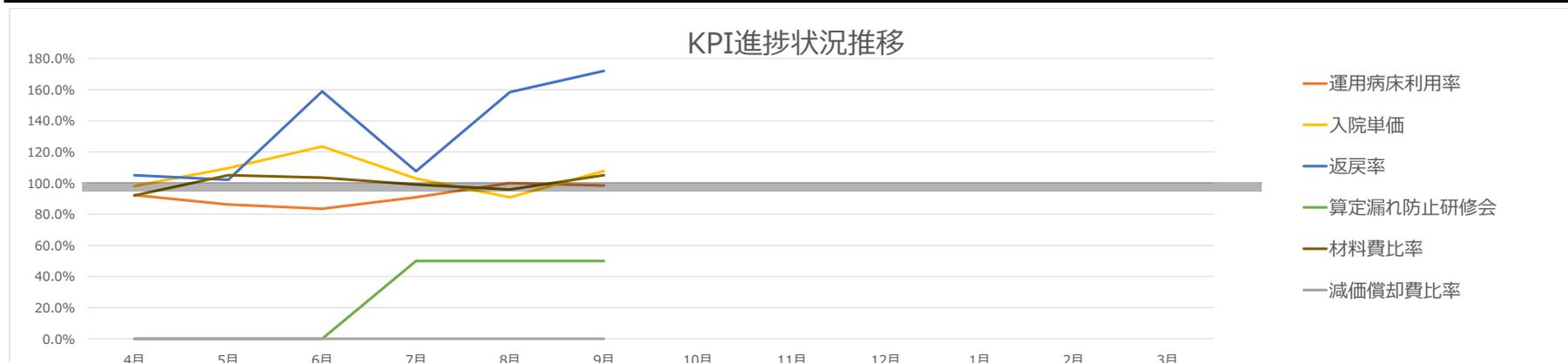
課題	アクションプラン	KPI(主な数値目標)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
必要な資格・認定等の取得推進	研修の充実・強化	研修受講回数	550 回	実績 進捗率	37 6.7%	39 13.8%	36 20.4%	46 28.7%	24 82.0%	269					
専門医の確保とレジデント育成	大学病院等との連携強化及びHP等発信	医師数	52 人	実績 達成率	50 96.2%	50 96.2%	50 96.2%	50 96.2%	50 96.2%	50 96.2%					
		HP閲覧数	192,000 人	実績 進捗率	14,874 7.7%	13,988 15.0%	14,248 22.5%	13,804 29.6%	14,383 37.1%	13,687 44.3%					
経営戦略的観点での人材確保	有資格者の確保・育成・配置	資格取得者(看護部)	12 人	実績 達成率	10 83.3%	10 83.3%	10 83.3%	10 83.3%	10 83.3%	10 83.3%					
<p>〈アクションプラン進捗状況〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KPIである「研修受講回数」は目標値を達成する見込み ・「医師数」「資格取得者（看護部）」については、引き続き、採用や育成等の取組を行う必要 ・「HP閲覧数」については、患者数とリンクする面があり、コロナ前の水準に戻っていないため、達成に向けて努力が必要 				K P I 進 捗 状 況	<p>〈具体的な取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から契約を始めたオンライン研修のサービスで、全員必須の研修を受講したため、受講回数は大幅に増加（オンライン研修：6月（4）、7月（5）、8月（3）、9月（251）） ・大学病院や専門病院等に医師の派遣依頼を行った結果、新患受入れを停止している頭頸科について、新年度からの医師派遣を検討いただけることとなった。レジデントについては1名採用選考を行い、下期から研修を開始することが決定した。 ・1名の看護師が、がん放射線療法看護認定看護師を受験、特定看護師研修を修了。1名の看護師が、がん看護専門看護師教育課程を受講中。緩和ケア認定看護師教育課程（特定行為付き）を9月に受験 					<p>〈具体的な取組内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
<p>〈下期の取組予定〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の執行状況を各部署に周知し、より積極的な研修等への参加を促す。 ・頭頸科や、医師が不足しているその他の診療科について、引き続き、大学病院や専門病院等に対して派遣依頼を行う。レジデントについては、次年度の募集要領を作成して募集を開始するとともに、応募者が増えるよう、より分かりやすく魅力のあるホームページの改修等を検討する。 ・長期的視野にたち、リンパ、嚥下の認定看護師取得支援。感染管理認定看護師教育課程を11月受験予定 					<p>〈次年度の取組予定〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 										



第五次群馬県県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）〈がんセンター〉

3、経営の健全化

課題	アクションプラン	KPI(主な数値目標)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
入院収益の向上	診療報酬の適切・確実な取得	運用病床利用率	63.7 %	実績 58.8	54.9	53.2	57.9	63.7	62.7							
				達成率 92.3%	86.2%	83.5%	90.9%	100.0%	98.4%							
		入院単価	63,390 円	実績 62,177	69,470	78,285	65,233	57,574	68,324							
				達成率 98.1%	109.6%	123.5%	102.9%	90.8%	107.8%							
		返戻率	4.8 %	実績 4.57	4.7	3.02	4.46	3.03	2.79							
				達成率 105.0%	102.1%	158.9%	107.6%	158.4%	172.0%							
費用の削減	建設改良費等の計画的執行・材料費の削減	算定漏れ防止研修会	2 回	実績 0	0	0	1	0	0							
				進捗率 0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%							
		材料費比率	41.5 %	実績 45.1	39.5	40.1	41.9	43.3	39.5							
				達成率 92.0%	105.1%	103.5%	99.0%	95.8%	105.1%							
		減価償却費比率	12.5 %	実績 13.2	13.3	13.3	13.3	13.1	12.5							
				達成率 -	-	-	-	-	-							
全職員の経営意識の醸成	経営状況の浸透															
<アクションプラン進捗状況> ・KPIである「入院単価」「返戻率」については、月の変動はあるが、目標値を達成している。「運用病床利用率」については、8月9月は100%に近い進捗率となっており、また、算定漏れ研修会についても下期の研修会を実施し達成する見込み。 ・「材料費比率」については、達成・不達成に月ごとの変動があるが、年間を通じて材料費比率の目標を達成できるよう、経費削減の取組を継続する。				K P I 進 捗 状 況	<具体的な取組内容> ・専門病院入院基本料の区分変更により単価が上昇した。 ・院内全職種を対象として、医事業務委託業者が当院の状況を踏まえた研修を実施。院内関係者の意識の向上、知識のボトムアップ等今後の算定漏れ防止に有効であった。 ・診療材料の価格交渉、共同購入品への切替拡大により、診療材料費を削減した。医薬品価格交渉の削減額は想定より少なかった。					<具体的な取組内容> ・ ・						
					<下期の取組予定> ・算定加算の洗い出しを行い、さらなる単価アップを検討する。 ・高額な一部特定の検査が返戻になる傾向があったため、その原因と対策について情報収集を行う。引き続き、医療保険委員会での話し合いを行い、分析していく。 ・来年度の診療報酬改定を踏まえた研修会の実施					<次年度の取組予定> ・ ・						



第五次群馬県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）〈がんセンター〉

4、デジタルトランスフォーメーションの推進

課題	アクションプラン	KPI(主な数値目標)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
院内既存ITシステムの最適化	既存ITシステム最適化	既存システムの改善件数	1 件	実績 進捗率	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%						
デジタル新技術の検討・導入	新技術の導入	新技術導入件数	1 件	実績 進捗率	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 100.0%	0 100.0%	0 100.0%					
		新技術導入検討に係る委員会開催	1 回	実績 進捗率	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 100.0%	0 100.0%	1 200.0%					
<p><アクションプラン進捗状況></p> <p>・KPIである「新技術導入件数」「新技術導入検討に係る委員会開催」については目標件数を達成している。各取組がより実効性のあるものとなるよう、引き続き取り組む。</p> <p>・「既存システムの改善」について、業者等との調整を行い、データ連携ができるよう取り組む。</p>				K P I 進 捗 状 況	<p><具体的な取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・業者に依頼をかけたが、緊急事態宣言中ということもあり回答にかなり時間がかかり、思うように進まなかった。 ・AI議事録作成ソフトを利用することで、議事録作成にかかる時間が減少した。 ・DX委員会を設置し、組織として新技術導入を検討する体制ができた。ワーキンググループを複数設置して、取組内容を具体化できた。 					<p><具体的な取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					
					<p><下期の取組予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICUのシステムと電子カルテの、患者基本情報のデータ連携を調査する。 ・RPAを利用して、事務を自動化したい。 ・日々情報収集を行い、業務で使用できる新技術を検討する。 ・委員会で、設置したワーキンググループの進捗を管理する。 					<p><次年度の取組予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ 					



第五次群馬県県立病院改革プランの進捗状況について（個別計画）〈がんセンター〉

5、新たに挑戦するもの

項目	プラン説明文	進捗状況
地域がん診療連携拠点病院 (高度型)	<p>当センターは「地域がん診療連携拠点病院」に指定されています。</p> <p>「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」とは、地域がん診療連携拠点病院に指定されている病院のうち、診療機能等が高い医療機関として厚生労働大臣が適当と認めた病院です。現在、厚生労働省は全国で47 施設を指定していますが、群馬県内にはありません。</p>	<p>・地域拠点病院（高度型）については、地域拠点病院の指定要件以外にもいくつか要件を満たす必要があるが、その中で「緩和ケアセンターに準じた緩和ケア提供体制の整備」が要件を満たしていないため、人員配置(特に、がん看護または緩和ケアに関する専門資格を有する専従看護師 2名の配置)について検討中。</p>
がんゲノム医療拠点病院	<p>当センターは県内唯一の「がんゲノム医療連携病院」に指定されています。</p> <p>「がんゲノム医療拠点病院」とは、</p> <p>①専門家が集まり遺伝子解析結果を検討する委員会（エキスパートパネル）の実施</p> <p>②専門の医師や遺伝カウンセラーなどが遺伝学的情報を家族に説明するとともに心理的支援や社会的な支援を総合的に提供する（遺伝カウンセリング）の実施</p> <p>③適切な臨床情報等の収集・管理・登録</p> <p>④がんゲノム医療連携病院等の支援を行う医療機関として、厚生労働省から指定された病院です。</p> <p>現在、厚生労働省は全国で33 施設を指定していますが、群馬県内にはありません。</p>	<p>・エキスパートパネル(専門家会議)の構成員として2名以上の病理専門医の配置</p> <p>・がんゲノムの情報管理を担う実務担当者(情報収集・管理に関する資格を保有)</p> <p>上記のような人員配置要件に加え、エキスパートパネルを定期的に行うことができる環境の整備が課題となっている。なお、R2年度より常勤看護師が認定遺伝カウンセラーの資格取得のため大学院在籍中。</p>

